

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成27年度取組結果】

団体名 株式会社 北九州輸入促進センター

所管課 産業経済局 国際ビジネス政策課

団体に対するミッション
 小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。

行財政改革大綱における見直し内容
 現在、AIMビルへの積極的なテナント誘致活動により、経営状況が安定化してきており、施設設備の老朽化に伴う大規模修繕費用の負担も踏まえつつ、今後とも健全経営の維持に努める。

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態 継続して積極的なテナント誘致活動を行い、ビル入居率の維持、向上に努めると同時に、単年度決算での黒字を今後も確保し続けることを目指す。

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H26 実績	H27 目標 実績		H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
ビル全体の入居率	89%	86%	90%	87%	88%	89%	89%
当期純利益	173,054千円	黒字	192,307千円	黒字	黒字	黒字	黒字

ミッションの遂行状況の評価（平成27年度）

団体における評価	空き区画の多かった2階フロアを中心に、積極的なテナント誘致活動に取組んだ結果、金融機関のローンセンターや損害保険会社の支店といった大型テナントの新規入居が実現するなどの成果を上げることができた。その結果、5期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。	市の評価	長年の課題であった2階について、商業フロアからオフィスフロアへの転換を図り、テナント誘致に力を注いだ結果、金融機関などの入居を実現し、昨年度を上回る入居率と黒字額を達成できたことは高く評価できる。
今後の課題及び見直し内容	施設・設備の老朽化が進んでおり、今後も経営状況等を勘案しながら、長期修繕計画の着実な実施及び設備等の適切な管理を行う。第23期（H27）は、1階北側軒天改修工事、電気ブレーカーの交換工事等を実施した。第24期（H28）は外壁改修工事や火災報知システムの更新などを実施する。	団体への改善指導内容	引き続き、新規テナントの積極的な誘致とともに、長期修繕計画の着実な実施をはじめとした入居テナントの満足度を上げるための働きやすい快適なオフィス環境の提供など、きめ細やかなサービスに努めることにより、単年度黒字の維持を求める。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類 特に経営状況を注視する団体
 不動産業者への定期訪問回数増による情報提供の拡大等、積極的なテナント誘致活動と既存テナントの増床を進めた結果、入居率が向上し、黒字を確保することができた。